

京極読書新聞 <第90号>

発行日 平成29年7月1日(土)
京極町生涯学習センター湧学館

京中生に インタビュー

2017・第2回



平成28年度第27回京極町読書感想文コンクール
で入選した中学生に、読んだ本のことや学校生活に
ついてなどをお聞きしています。取り上げた本は湧
学館で読むことができます。夏休みにぜひどうぞ！

西村 洸太さん(1年) 「アンネ・フランク」
田村 暢熙さん(3年) 「杉原千畝物語」



「アンネ・フランク『隠れ家』で日記を書き続けた少女」 キャロル・アン・リー／著（偕成社，2003）
「杉原千畝物語 命のビザをありがとう」 杉浦幸子、杉浦弘樹／著（金の星社，1995）

——西村さんは1年生、田村さんは3年生ですが、中学校生活で思い出に残っていることは何ですか。

西村 体育大会の綱引きで初めて1位になったことです。

田村 見学旅行や宿泊研修、修学旅行の三つです。

——お二人が読書感想文に、それぞれこの本を取り上げたきっかけは何でしたか。

西村 アンネ・フランクの本を兄や姉が読んでいたので、自分も読んでみたいと思いました。

田村 読書感想文に最初物語を選んだんですが書きづらくて、杉原千畝という実際の人物の本を選びました。

——西村さんにお聞きしますが、アンネの伝記を読んで最初にどう思うか。

西村 アンネがユダヤ人だから迫害を受けたというのは知っていたんですが、それ以外のこともわかって良かったです。

——迫害を受けながらも、希望を捨てずに一生懸命に生きたアンネをどう思いましたか。

西村 死ぬかもしれないという状況で、それでも頑張っているのがすごいと思いました。

——自分がもしアンネと同じ状況になったら、どうだったと思いますか。

西村 みつかって死にたくないし、早く戦争が終わってほしいと考えたと思います。

——アンネの伝記で一番印象に残っている場面はどこですか。

西村 かくれる前に友だちからネコをもらったんですが、そのネコと別れる場面です。

——この本には戦争の様子が書かれていますが、西村さんは戦争をどう思いましたか。

西村 まず、戦争をしてほしくないし、逆に何で戦争をするのかが分かりませんでした。

——アンネが書いた「アンネの日記」を読んだことがありますか。

西村 まだ読んだことがないので、読んで見たいです。

——田村さんにお聞きしますが、杉原千畝は日本外務省の命令に従わず、ユダヤの難民にビザを発行して多くの命を救いましたが、杉原千畝という人物をどう思いましたか。

田村 国の命令にそむいたのだから、いつ捕まってもおかしくない中で、何千人の命を救ったのですすごい人だと思いました。

——自分がもし杉原千畝と同じ状況になったら、どうしたと思いますか。

田村 助ける自信がないので逃げたと思います。

——田村さんはユダヤのことわざを知っていたそうですが、それはどういうものですか。

田村 「一人の命を救うことは、全世界を救うのと同じである。」というもので、私の大好きなことわざです。

——この本で一番印象に残っている場面はどこですか。

田村 杉原千畝が大勢のユダヤ人を救ったことと、後にイスラエル政府から功績をたたえられて、「諸国民の中の正義の人賞」を受けた時に「当然のことをしただけです。」と話していたのが印象的でした。

——この本をどんな人たちに読んでもらいたいと思いますか。

田村 歴史の好きな人たちです。いま戦争を習ったところなんですが、杉原千畝の名前が教科書に出てこないのが残念だからです。

——最後にお二人にお聞きしますが、これから楽しみにしていること、または、将来やりたいことはなんですか。

西村 球技大会と文化祭が楽しみです。

田村 高校にいけたら、たくさん遊びたいし、勉強も頑張りたいです。



向田 朱羅さん(2年)「風のシャトル」 本間 美咲さん(2年)「オレさすらいの転校生」

——お二人は2年生ですが、今までの中学校生活で思い出に残っていることは何ですか。

向田 2年のときの宿泊研修です。

本間 わたしも札幌での宿泊研修です。

——お二人がそれぞれこの本を、読書感想文に取り上げたきっかけは何でしたか。

向田 背表紙のタイトルが気になって、手に取りました。

本間 題名を見ると男子向きの本かなと思ったけれど、「さすらい」って何だろうと思って選びました。

——向田さんにお聞きします。この「風のシャトル」はバドミントンの部活を通して、微妙に揺れる少女たちの心の動きが描かれています。向田さんもバドミントン部に入っているようですが、印象に残った場面が三つあったそうですね。一つ目はどういう場面ですか。

向田 主人公の一人カンナが、大会への出場権をかけて友だちとシングルス試合を行い、負けて大会へ出られなくなったところで。

——その場面を読んでどう思いましたか。

向田 私も中体連の団体戦と個人戦両方に出場できず、その時の悔しかった気持ちがカンナの気持ちと似ているなと思いました。

——二つ目はどういう場面ですか。

向田 大会に出ることができなくなったカンナが、学校をさぼり、お父さんと白馬連峰のホテルに泊まる場面です。

——その場面を読んでどう思いましたか。

向田 カンナは、今まで相手に勝つことばかり考えて、バドミントンの楽しさを忘れていたことを思い出すのですが、私にも同じことがよくあるなと感じました。

4ページ目に続きます



「風のシャトル」 山崎玲子／作（国土社，2005）
「オレさすらいの転校生」 吉野万理子／著（理論社，2016）

——三つ目はどういう場面ですか。

向田 大会には出られないけれど、カンナと亜矢のダブルスの動きが、だんだん合ってくるところです。自分もダブルスの練習をしています、なかなか二人の息が合わない時があります。

——この本全体を読んで感じたこと、考えたことが何かありますか。

向田 バドミントンを始めた頃は、バドミントンをすることが楽しくて部活に来ていましたが、最近は勝つため、強くなるために来ていました。この本に出会って勝つことだけじゃなくて、楽しみながらやるのが、大事だなと考えるようになりました。

——本間さんにお聞きします。「オレさすらいの転校生」の主人公の風馬について、どう思いましたか。

本間 転校生だけど、みんなを引っ張っていくリーダーシップがあって、性格も明るいと思いました。

——本間さん自身とは違うところがあると思いますか。

本間 私はほとんど全部、風馬と逆な感じがします。

——この本には競歩の大会が出てきますが、競歩を知っていましたか。

本間 何かで聞いたことがあると思いました。読んでいくうちに少しずつ分かってきました。競歩は難しそうですが、やってみたいと思いました。

——風馬とクラス仲間についてはどう感じましたか。

本間 しゃべらないサクラをみんなが心配しているところとか、競歩大会に団結して応援するところがあって、仲がいいなと思いました。

——最後に印象的に残った場面があったそうですが、それはどんな場面ですか。

本間 クラスの団結によってサクラがしゃべってくれたところです。そして、「自分がしゃべると誰かを傷つけてしまう」という本当の理由を、サクラが話したところです。

——この本を誰に読んでもらいたいと思いますか。

本間 字が大きく絵も多いので、中学生ばかりではなく小学生にも読んでほしいです。

——今日はどうもありがとうございました。

読書感想文の本に悩んだら…

北海道の読書感想文コンクールには、自分で選んだ「自由図書」のほか、「課題図書」「指定図書」で感想文を書いて応募することができます。この「課題図書」「指定図書」には対象の学年も指定されているので、自分に合う本がわからないときは、参考にしてみてもいいでしょうか？

湧学館では夏休み期間中、この「指定図書」が含まれている『北海道青少年のための200冊』を展示予定です。自分の学年はもちろん、気になる本があれば他の学年のものもどんどん手に取ってみてください。



京極読書新聞は 毎月1日発行予定です

発行

京極町生涯学習センター湧学館
〒044-0101 京極町字京極158番地1
TEL 0136-42-2700(代表)
FAX 0136-42-2032
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください
<http://lib-kyogoku.jp>

